

病院経営動向調査（2020年9月調査）
新型コロナウイルス感染症の影響等
に関する特別調査結果

2020年10月
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター

目次

病院経営動向調査（2020年9月調査）概要	4
新型コロナウイルス感染症の影響等に関する特別調査結果	5
経営状況	5
1. 医業収益の変化（7月診療分の前年同月比）	5
2. 入院診療収益の変化（7月診療分の前年同月比）	5
3. 外来診療収益の変化（7月診療分の前年同月比）	6
4. 医業収益の変化（見込み）（8月診療分の前年同月比）	6
5. 赤字・黒字の状況（7月診療分の実績）	6
6. 医業利益率の変化（7月の前年同月比）	7
7. 医業利益率の変化（見込み）（8月の前年同月比）	7
8. COVID-19患者の受入れ状況	7
9. 入院診療での現在の対応・状況 ※複数回答	8
10. 入院の稼働状況（直近の状況） ※複数回答	8
11. 外来診療での現在の対応・状況 ※複数回答	9
12. 外来診療の稼働状況（直近の状況） ※複数回答	9
運営面の課題等	10
13. 設備投資計画の状況 ※複数回答	10
14. コロナ禍において活用した（申請中を含む）経営支援策 ※複数回答	10
15. コロナ禍における入院患者の確保（病床利用率の維持・回復）に関して、取り組まれている事項やうまくいったケースなど（任意）	11
16. コロナ禍における外来患者の確保に関して、取り組まれている事項やうまくいったケースなど（任意）	12
17. 他院・他施設との入退院調整に関して、コロナ禍を踏まえて新たに始めた取り組みやスムーズにいったケースなど（任意）	13
18. 職員の採用に関して、以前との状況変化や、学生や求職者側にアピールするポイントなど留意されている点（任意）	14
19. 職員の定着に関して、現環境下で取り組まれている事項（任意）	15
20. 資金繰りに関する見通しや対応方針など（任意）	16
（参考）2020年7月調査、8月調査の結果について	18
21. 医業収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）	18
22. 入院収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）	18
23. 外来収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）	19
24. 医業収益の変化（見込み）（6月、7月診療分の前年同月比）	19

25. 黒字赤字の状況.....	20
26. 医業利益率の変化（5月、6月診療分の前年同月比）	20
27. 医業利益率の変化（見込み）（6月、7月診療分の前年同月比）	20

病院経営動向調査（2020年9月調査）概要
～新型コロナウイルス感染症の影響等に関する特別調査～

2020年10月30日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター

目的

新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」という。）に伴う、病院経営・運営への影響等の把握

アンケートの対象および回収状況

対 象：374施設（病院経営動向調査モニター）

有効回答数：287施設

有効回答率：76.7%

実施期間

2020年9月8日（火）～2020年9月25日（金）

方法

Web アンケート

新型コロナウイルス感染症の影響等に関する特別調査結果

経営状況

1. 医業収益の変化（7月診療分の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
増加	19	11.4%	11	16.4%	10	18.9%
横ばい	38	22.8%	27	40.3%	28	52.8%
1割減	85	50.9%	22	32.8%	12	22.6%
2割減	19	11.4%	5	7.5%	2	3.8%
3割減	4	2.4%	2	3.0%	1	1.9%
4割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
5割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

注）割合は、列方向の合計に対するそれぞれの割合（以下、同様の表において同じ。）

2. 入院診療収益の変化（7月診療分の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
増加	27	16.2%	12	17.9%	14	26.4%
横ばい	44	26.3%	28	41.8%	26	49.1%
1割減	75	44.9%	20	29.9%	10	18.9%
2割減	17	10.2%	6	9.0%	3	5.7%
3割減	2	1.2%	1	1.5%	0	0.0%
4割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
5割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

3. 外来診療収益の変化（7月診療分の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
増加	14	8.4%	4	6.0%	2	3.8%
横ばい	39	23.4%	31	46.3%	21	39.6%
1割減	76	45.5%	16	23.9%	20	37.7%
2割減	29	17.4%	6	9.0%	7	13.2%
3割減	8	4.8%	7	10.4%	2	3.8%
4割減	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
5割減	1	0.6%	0	0.0%	1	1.9%
その他	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

*外来なし

4. 医業収益の変化（見込み）（8月診療分の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
増加	14	8.4%	6	9.0%	4	7.5%
横ばい	56	33.5%	30	44.8%	30	56.6%
1割減	70	41.9%	22	32.8%	16	30.2%
2割減	22	13.2%	6	9.0%	1	1.9%
3割減	3	1.8%	3	4.5%	1	1.9%
5割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
6割減	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
その他*	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

*未回答（以下、記載がない場合は同じ）

5. 赤字・黒字の状況（7月診療分の実績）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
黒字	39	23.4%	25	37.3%	22	41.5%
ほぼ収支均衡	38	22.8%	20	29.9%	21	39.6%
赤字	90	53.9%	22	32.8%	10	18.9%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

6. 医業利益率の変化（7月の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
上昇	23	13.8%	8	11.9%	11	20.8%
横ばい	25	15.0%	20	29.9%	18	34.0%
0～3%未満程度	29	17.4%	12	17.9%	11	20.8%
3～5%程度低下	27	16.2%	9	13.4%	5	9.4%
5～10%程度低下	36	21.6%	11	16.4%	4	7.5%
10～20%程度低下	14	8.4%	5	7.5%	2	3.8%
20～30%程度低下	3	1.8%	2	3.0%	0	0.0%
30%以上低下	10	6.0%	0	0.0%	2	3.8%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

7. 医業利益率の変化（見込み）（8月の前年同月比）

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
上昇	13	7.8%	3	4.5%	11	20.8%
横ばい	37	22.2%	22	32.8%	19	35.8%
0～3%未満程度	32	19.2%	12	17.9%	10	18.9%
3～5%程度低下	30	18.0%	11	16.4%	6	11.3%
5～10%程度低下	28	16.8%	12	17.9%	5	9.4%
10～20%程度低下	15	9.0%	6	9.0%	1	1.9%
20～30%程度低下	5	3.0%	1	1.5%	0	0.0%
30%以上低下	7	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

8. COVID-19 患者の受入れ状況

	一般病院		療養型病院		精神科病院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
現在受け入れている	32	19.2%	2	3.0%	1	1.9%
受入れたことがある （現在はいない）	27	16.2%	2	3.0%	1	1.9%
今後受入れ予定	15	9.0%	6	9.0%	4	7.5%
受入予定はない	93	55.7%	57	85.1%	47	88.7%
全体	167	100.0%	67	100.0%	53	100.0%

9. 入院診療での現在の対応・状況 ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
面会制限	154	92.2%	60	89.6%	44	83.0%
院内委員会やカンファレンスの制限	76	45.5%	30	44.8%	19	35.8%
疑い患者の受入れにあたって個室等で数日間隔離	76	45.5%	19	28.4%	18	34.0%
他医療機関・施設・ケアマネ等との間での訪問の制限	52	31.1%	26	38.8%	18	34.0%
COVID-19 及びその疑い患者の受入れを制限	37	22.2%	15	22.4%	18	34.0%
COVID-19 患者の受入れのために病棟受入れを制限	33	19.8%	1	1.5%	2	3.8%
手術の延期	19	11.4%	3	4.5%	0	0.0%
他の軽症者の受入れを制限	8	4.8%	2	3.0%	2	3.8%
他の重症者の受入れを制限	7	4.2%	2	3.0%	3	5.7%
その他*	4	2.4%	3	4.5%	2	3.8%
とくにあてはまるものはない	2	1.2%	3	4.5%	3	5.7%

*その他の内容

- ・救急車搬送件数の減少
- ・PRC 検査、抗原検査の実施 等

10. 入院の稼働状況（直近の状況） ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
家庭や外来からの入院が減少	104	62.3%	16	23.9%	24	45.3%
医療機関等からの入院が減少	93	55.7%	40	59.7%	18	34.0%
救急からの入院が減少	78	46.7%	10	14.9%	7	13.2%
前年と同水準	12	7.2%	14	20.9%	15	28.3%
とくにあてはまるものはない	9	5.4%	7	10.4%	6	11.3%
その他*	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
算定困難な加算がある	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%

*その他の内容

- ・退院先が見つかりにくい、個室差額を患者から徴収できない 等
- *算定困難な加算
- ・レセプトで新型コロナウイルス抗原検査が査定される（厚労省通知では算定可）

11. 外来診療での現在の対応・状況 ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
発熱患者用の外来対応	114	68.3%	26	38.8%	11	20.8%
長期処方の実施	83	49.7%	27	40.3%	25	47.2%
オンライン・電話診療の活用	76	45.5%	24	35.8%	28	52.8%
健診・ドック等の中止・制限	31	18.6%	10	14.9%	1	1.9%
とくにあてはまるものはない	15	9.0%	12	17.9%	12	22.6%
外来の一部中止	10	6.0%	6	9.0%	10	18.9%
その他	3	1.8%	5	7.5%	1	1.9%

*その他の内容

- ・重傷者の救急対応の制限（発熱対応を急外にて実施しているため）
- ・PCR検査・抗原検査の実施
- ・職員のフェイスシールド着用。来院者への病院入り口での検温および手指消毒の実施 等

12. 外来診療の稼働状況（直近の状況） ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
受診控え等により再診患者の減少	125	74.9%	32	47.8%	30	56.6%
受診控え等により新規患者の減少	124	74.3%	33	49.3%	24	45.3%
救急搬送件数の減少	76	45.5%	5	7.5%	3	5.7%
中止・制限したことによる患者の減少	20	12.0%	10	14.9%	12	22.6%
前年と同水準	12	7.2%	9	13.4%	11	20.8%
とくにあてはまるものはない	6	3.6%	13	19.4%	5	9.4%
算定困難な加算	2	1.2%	1	1.5%	1	1.9%
その他	2	1.2%	1	1.5%	1	1.9%

*その他の内容

- ・長期処方による再診患者の減少
- ・電話再診件数が増加したことで、未収金が発生している 等

運営面の課題等

13. 設備投資計画の状況 ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
当面設備投資計画はない	48	28.7%	24	35.8%	23	43.4%
新型コロナウイルス感染症対策の投資を実施予定（実施済み）	48	28.7%	14	20.9%	10	18.9%
設備更新・改修の計画があり、予定通り実施する	40	24.0%	13	19.4%	7	13.2%
設備更新・改修の計画があったが、延期または中止した	34	20.4%	12	17.9%	8	15.1%
新築・増築の計画があり、予定通り実施する（した）	25	15.0%	8	11.9%	8	15.1%
新築・増築の計画があったが、延期または中止した	7	4.2%	5	7.5%	7	13.2%

*新型コロナウイルス感染症対策の投資の内容

- ・人工呼吸器購入
- ・陰圧室の増床、陰圧装置の配備
- ・発熱外来用プレハブの設置
- ・感染者用個室整備 等

14. コロナ禍において活用した（申請中を含む）経営支援策 ※複数回答

	一般病院 (n=167)		療養型病院 (n=67)		精神科病院 (n=53)	
福祉医療機構による無利子・無担保融資	60	35.9%	18	26.9%	7	13.2%
その他	27	16.2%	10	14.9%	7	13.2%
雇用調整助成金の特例措置	23	13.8%	11	16.4%	4	7.5%
民間金融機関による実質無利子・無担保融資	14	8.4%	5	7.5%	0	0.0%
持続化給付金	13	7.8%	6	9.0%	3	5.7%
IT導入助成金	13	7.8%	6	9.0%	1	1.9%
信用保証協会の保証（セーフティネット4号・5号）	10	6.0%	4	6.0%	3	5.7%
家賃支援給付金	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%

*その他の内容

- ・補助金（新型コロナウイルス感染症対策事業、帰国者接触者外来整備事業、重点医療機関等整備事業など）
- ・小学校休業等対応助成金・支援金
- ・自治体の利子補給制度を活用した融資利用
- ・民間金融機関からの低利融資 等

15. コロナ禍における入院患者の確保（病床利用率の維持・回復）に関して、取り組まれている事項やうまくいったケースなど（任意）

注）類似の回答は一部まとめています（以下 20 まで同じ）

【地域連携】

- ・ 他施設への営業。診療所の手術症例の受け入れ。
- ・ 近隣病院や施設に、空床状況や稼働率情報を定期的に FAX する。
- ・ 病病連携で当院の空ベッド状況をタイムリーにお知らせする。転院相談には即日回答している。
- ・ 紹介元医療機関の感染状況、患者の体調を十分確認し、確認で手間を煩わせてしまう分、迅速に転院を受け入れることにより、自院の入院病床の高稼働を維持。
- ・ 地域医療連携センターの強化。
- ・ 自治体及び大学病院との受入態勢にかかる協議を実施。
- ・ 医師による紹介病院へのカンファレンス参加等で連携強化。地域連携室が中心となって近隣クリニック等への挨拶回り等の連携強化を図っている。
- ・ 紹介医療機関への患者お迎え（車両）。
- ・ 急性期病院との継続的な連携および入院前訪問、入院前連絡を実施。
- ・ 疑い患者は近隣の指定病院と連携して対応。

【検査入院体制】

- ・ 術前 PCR 検査のスキームを構築し、安心してオペができるよう運用ルールを整備。
- ・ 入院の必要性を判断する際、数日間家で様子を見るのをやめ、一旦入院を勧める。
- ・ 手術前にコロナ PCR 検査を実施。
- ・ 発熱者はトリアージに加え、一定期間は個室対応下で受け入れる。
- ・ 平均在院日数を踏まえた転棟などベッドコントロール。
- ・ 送患元の多様化。

【救急受入】

- ・ ER で断らないで受ける。緊急入院の件数維持、新たな開業医とのつながりの確保に資する（ただし、院内感染とならないための感染予防の徹底が肝になる）。
- ・ 救急搬送者の受け入れ強化。

【その他】

- ・ 地ケア病床の拡大（8 月）。安心して外来にかかれる環境整備（継続）による外来経由入院患者の増加対策。
- ・ 早期からのフル PPE での患者の安心感。
- ・ 当院への入院の有無にかかわらず、必ず家族面談を当院の地域連携室が実施（約 1 時間程度かけて患者のヒアリング）。この事で、ADL や経済事情、家族事情等の詳細を把握できている。
- ・ 当院でコロナ陽性の入院患者を 4 月当初に確認以降、院内感染防止の取組を外来・入院とも行い、患者向け・連携先への広報を行った。それが地域の皆様への不安や風評被害を生むことになったが、逆に安心感に繋がって受け入れられ、ある程度までは回復。また、行政との連携により、役割はないものの連動して地域に貢献。
- ・ 通常診療を行っていることの情報発信や紹介、救急患者の動向を把握し、集患対策を行っている。

16. コロナ禍における外来患者の確保に関して、取り組まれている事項やうまくいったケースなど（任意）

【発熱患者対応】

- ・ 入口にサーモグラフィを新たに設置。
- ・ 玄関先での発熱患者の振分け。職員の人件費等がかかるが健診を午後に誘導し、健診のみを実施。
- ・ 検温とアンケート確認を行い、清潔エリアを設定し安心感を持ってもらう。
- ・ 発熱者の診察専用のプレハブを設置・整備。
- ・ 発熱外来の積極的施行、PCR検査実施のアピール（行政・他医療機関）。
- ・ 正面玄関に看護師を配置し、検温、来院理由を確認し、発熱者を館内で待たせないように配慮。
- ・ 車以外での来院者のためのプレハブの設置や、完全な動線分離をしている（地域で発熱者の診察（対面での）を行う機関が、極端に少ないと思われ、かかりつけの医療機関で熱は見ないと言われ、新規（比較的若い方：10～50代）の新患の獲得につながっていると思われる）。
- ・ 発熱者の来院時間を設定。
- ・ 屋外に診察室を設置し、発熱患者と一般患者のゾーンを分けている。

【オンライン・電話活用】

- ・ 未受診患者への電話。
- ・ 電話再診の活用。
- ・ オンラインでの問診、予約、ホームページからの誘導。

【その他】

- ・ 飛沫感染防止対策等を実施、HP等を活用し患者へ安全であることの周知を徹底。
- ・ 地域の医療機関における積極的な訪問活動や健康講座の開催、PR（広告）。
- ・ 病院内の環境整備の徹底により、患者離れを防止。
- ・ 急性期病院との継続的な連携および車での送迎を実施。

17. 他院・他施設との入退院調整に関して、コロナ禍を踏まえて新たに始めた取り組みやスムーズにいったケースなど（任意）

【事前対応】

- ・ 当院での感染対策状況を事前に説明し理解してもらう。
- ・ 飛沫感染防止対策を行ない、カンファレンス等を実施。
- ・ 事前に転院前に、周囲の感染状況を確認。また、転院の場合は検査の実施状況をヒアリングし、当院で全例抗原検査を実施し、転院前に実施している場合も、実施からの期間により再度実施（緊急入院の場合も、疑似症状がなくても陽性の確認があることも少なくなく、互いの感染拡大防止に寄与していると思われる）。

【地域連携】

- ・ 地域ネットワークシステムの活用。
- ・ 地域連携パスの有効活用。
- ・ 在宅では多様な事情により受け入れる事の出来ない急性期病院からの転院依頼があり、地域連携室間での連携が上手に行われている。

【その他】

- ・ 紹介医療機関への患者お迎え（車両）。
- ・ コロナ禍の中で結核患者の受入れに対する連携強化。
- ・ オンラインでの入退院調節ができる環境を整備。

18. 職員の採用に関して、以前との状況変化や、学生や求職者側にアピールするポイントなど留意されている点（任意）

(1) 以前との状況変化

- ・ 特定診療科医師、看護師以外、特に職員採用予定無し。
- ・ 人材紹介会社に誘導されての応募が多くなっている。
- ・ 既卒の看護師、コメディカル職員への、複数の応募が見られる。
- ・ 当地域の製造業や宿泊サービス業の雇用環境の悪化により、看護助手や事務員など、以前は採用に苦慮していた職種に人材が流入し始め、院内の必要人材（派遣含む）がほぼ充足。
- ・ 看護助手について異業種からの転職が増えている感触がある。
- ・ これまで調理師の採用は困難だったが、最近では応募が増えた。
- ・ 他県への移動制限により、医療従事者に関しては地元での就職志向が高まっていると思われる（Uターン等含め）。また、応援NSや派遣等で従事した資格職も、就職志向が高まっていると思われる。これまで困難だった、看護補助者、介護職員も、夏以降応募があり、比較的若手の人材の確保ができた。ただ、委託業務ではあるが、院内清掃、調理、常駐警備（夜間）の確保は、困難な状況に変わりはない。
- ・ 養成校への訪問等が出来ず、オンラインが増加。求職者の全体像の把握に支障あり。

(2) 学生や求職者側へのアピールポイント等

【労働条件】

- ・ IT を駆使し、休みを取りやすくする。
- ・ ライフワークバランスに取り組み、緊急時以外の残業が発生しない病棟運営を実践。
- ・ 合理的な労働環境の整備、勤務評定の適正化。

【オンラインでの取組】

- ・ オンライン活用による病院説明会、及び受験体制の整備。
- ・ ホームページのリニューアルを実施。
- ・ オンライン面談の実施。
- ・ 遠隔地にも施設や職場の様子、働きやすさを伝えられるよう、動画や職員インタビューを法人 Web サイトに掲載するとともに、YouTube チャンネルでも公開するなど、Web 上での求人活動に力を入れている。

【見学】

- ・ 可能な限り、見学・実習生を受け入れる。
- ・ 採用活動の自粛のため、県のFターンインターンシップ制度等を活用。
- ・ 新卒者について大学病院等で実習が困難となった学生の臨地実習の受入を実施。

【その他】

- ・ 広報活動の拡大（HP での募集案内、学校への案内文書の送付等）。
- ・ 社会貢献として、当院（重点医療機関）はコロナ患者を積極的に受け入れている（だからこそ万全の感染対策をとっている）。
- ・ 学校に直接出向しての求人活動、ネット環境で閲覧できるデータへの求人入力。
- ・ 採用試験や見学者に対し検温等の対策を徹底。
- ・ 年齢やスキルなど求める人材像を明確にし、ターゲット層が応募しやすい手段で、求められる情報を提供。

19. 職員の定着に関して、現環境下で取り組まれている事項（任意）

【勤務時間】

- ・ 看護師夜勤において2交替、3交替ミックスを導入。
- ・ 終業時間の15分切上げ、永年勤続表彰10年に20・30年を追加。
- ・ レイオフはしない。配置転換、業務整理を行い、チームの一体感とモチベーションを下げないように工夫。
- ・ 時間管理の厳格化による残業時間の削減。
- ・ ライフワークバランスに取組んでおり、緊急時以外の残業が発生しないための病棟運営を実践。
- ・ ワークライフバランス、定時出勤・定時退社。

【休暇】

- ・ 休日等を充実させ、仕事と家庭を両立できるようにしている。
- ・ 学校臨時休業に伴う特別休暇や母性健康管理措置による特別休暇等の速やかな導入。
- ・ 新型コロナに対する特別休暇の設定。
- ・ 新型コロナ感染患者対応スタッフが安心して業務に取り組めるよう、感染患者対応後の一定期間、待機生活が可能な専用社宅を準備するとともに、待機休暇を設定した（家族への感染防止）。
- ・ 休暇等の取得の推進。

【給与手当】

- ・ 外来担当ナースに危険手当の支給（コロナ対応手当）。
- ・ コロナ見舞金を配布。
- ・ コロナ関連の様々な休業等の補償について対応。職種間や周囲の状況を加味した給与体系の見直し。
- ・ 赤字でも賞与の満額支給継続。
- ・ 対応スタッフへの特別手当を設定。

【感染対策】

- ・ 院内感染防止対策の強化徹底による職員の健康安全に努めている。
- ・ コロナウイルス感染拡大防止のための対策推進を行っている。
- ・ 感染予防対策の実施。

【その他】

- ・ eラーニング研修の充実によるスキルアップ。開かれた風通しの良い、誰でも正当に意見が出せる雰囲気職場作りと継続的なハラスメント未然防止対策の実施。
- ・ 所属長向け組織力の院内研修。
- ・ 施設の運営状況、今後計画等について、きめ細やかに情報提供し参画を促す。
- ・ 就業規則、給与規定の見直し。
- ・ カンファレンスや面談等を定期的実施。
- ・ 勤務評定の適正化。

20. 資金繰りに関する見通しや対応方針など（任意）

【融資・補助金等による対応（予定含む）】

- ・ 福祉医療機構による特別融資などで、当面のキャッシュフローは問題ないと思われるが、今冬の賞与など状況により見直さざるを得ない可能性が高い。
- ・ 今夏賞与より、10%程度の削減を実施し、今冬も同率程度削減予定。福祉医療機構による無利子・無担保融資を受ける予定。厚生労働省「医療機関・薬局等における感染拡大防止支援事業」を申請予定。
- ・ 今夏より、賞与10%程度削減、福祉医療機構。民間金融機関からの借入を策定中。
- ・ WAM・信用保証協会付きの民間金融機関からの融資により、通常の賞与を支払うことができそう。通常より負担の多い業務をさせているので賞与減額は医療従事者のモチベーションを下げることになり避けたいと考えている。しかし、いくら無担保無利息でもいずれは返済の必要があり、このままでは立ち行かないと考える。
- ・ コロナ禍における収入減により銀行借り入れに加え、冬季賞与支給時も更に借入が発生する可能性がある。借入の枠を増やす契約を銀行とかわし、万が一コロナの感染が法人内で発生した場合の資金繰りに対応できるよう、リスクヘッジを行った。
- ・ 賞与減額、銀行融資で対応。
- ・ コロナ病床確保のための補助金が見込み通りの金額で入金されれば、借入を増加させずに今期の資金繰りは何とか回る見通し。冬の賞与支給率については今後検討。
- ・ 業績に応じて支給する予定であるが、収支の悪化により資金繰りは非常に厳しい。補助金等を最大限活用しながら、収支改善策の検討・実行に努めている。
- ・ 補助金を受けられる見通しがあるため、何とか資金繰りが出来ている状態（事業利益は赤字予定）。当院ではコロナ患者を受け入れている為、院内感染等があれば資金繰りは大変厳しくなると思われる。

【資金繰りの見通し】

- ・ 今冬の賞与支給は前年並みを予定。
- ・ 人員確保のため冬季賞与についてはできるだけ例年とおりの支給としたい。
- ・ 資金繰りに関する不安は今のところ特にない。
- ・ 銀行の融資姿勢に変化はなく、資金繰りは問題ない。
- ・ 資金繰りに関しては心配なし。7月以降医業利益も回復基調にあり、このまま続けば、冬の賞与支給額は昨年度同等を想定。
- ・ 賞与は生活給と考え昨年同様の支給を行う予定。年度末賞与（0.3ヶ月分昨年実績）はなし。資金繰りは院内感染があればダメージとなるが、現状は問題なし。
- ・ 昨年と比べて収益は減少しているが、現場で働く職員の為に満額支給を予定。
- ・ 業績連動の賞与のため、大きく資金繰りに困難な状態とはならない。
- ・ 今夏は賞与減額を行った。資金繰りは苦しいが事業の継続を考えると今冬の減額は出来るだけ行いたくない。
- ・ 長期借入金返済がたまたま減少してきているため、資金繰りに苦慮していない。
- ・ 今冬の賞与は50%程度減額になる予定。
- ・ 夏季同様に40%程度の支給カットを検討せざるを得ない収益状況。
- ・ 冬季賞与はマイナス25%を予想。
- ・ 昇給はなしとした。さらに冬季賞与は減額の見込（夏季賞与は満額支給）。
- ・ 年末の賞与について、予算通りの支給をすることは厳しいと考えている（夏季の賞与も0.1月分減額した）。
- ・ 外来・入院とも収益が減っている中、機器、設備の更新を行う必要があり不安を感じている。今冬の賞与について、厳しい回答をせざるを得ないが職員への影響が心配。

- ・ 4月～10月の損益状況を鑑みて、賞与支給、賞与の一部減額、賞与の全額不支給のいずれかを検討予定。
- ・ 夏は通常の支給月数にて支給したが、冬の賞与については現行の資金繰り等を加味して調整せざるを得ない。(コロナの影響での変動で職員の労力と精神的な負担を考えると減収に比例した減額はできかねる。コロナに応じ減収を伝えるメッセージとして若干減額して支給するか、検討中。)
- ・ 冬と期末の分割支給を行い、資金繰り緩和を行う。
- ・ 資金繰りが益々厳しくなると予想。
- ・ 資金繰りは決して楽では無く、いつクラスター等が発生してもおかしくない為、例年通りの支給が出来るかどうか厳しい状況。
- ・ 働き方改革の影響により人件費が増加している。加えて、コロナ禍で予測がつかない現状もあり厳しい。
- ・ 感染防止の為に医療材料の備蓄による在庫数の急増と消費量の大幅な増大に加えて、開設時以来使用してきた各種医療機器が20年経過し、破損・故障しており、多額の設備費用が見込まれるので、賞与資金の確保が心配。
- ・ 管理職の報酬10%削減(月俸、一時金とも)、一般職の一時金削減(▲0.6ヶ月)。
- ・ 出来る限り当初予算通り支給したいと考えている。資金繰りは悪化するが単年度の辛抱と考え、グループ金融枠の拡大で凌ぐ。
- ・ 病院単体ではコロナ禍の受診控え等による収益減で資金繰りが厳しく、大学本部からの資金援助で繋いでいる現状。

【その他】

- ・ 業績悪化で借入金が難しくなるか、金利が上がるのを心配している。
- ・ 通期の収益見通しを出して賞与額を算定予定。業績が好転した場合は、決算手当として対応を検討。
- ・ 資金繰りにおいて、既に今般の経営支援策を利用しているが、コロナ禍の先行きが見通せない為、今後追加の対策を検討しなければならない状況になる可能性を否定できないことを危惧。
- ・ 夏の賞与は全額支給とした。資金繰りは、コミットメントライン等の枠を作り、緊急時への備えをした。
- ・ 今夏の賞与は例年通り支給することができたが、今冬の賞与については、今後の状況をふまえて検討が必要な状況。

以上

(参考) 2020年7月調査、8月調査の結果について

21. 医業収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	6月実績		5月実績		6月実績		5月実績		6月実績		5月実績	
増加	21	12.1%	8	4.7%	9	13.6%	6	8.7%	8	14.8%	4	7.7%
横ばい	54	31.0%	24	14.1%	23	34.8%	21	30.4%	23	42.6%	25	48.1%
1割減	76	43.7%	69	40.6%	27	40.9%	27	39.1%	18	33.3%	19	36.5%
2割減	18	10.3%	49	28.8%	5	7.6%	11	15.9%	4	7.4%	3	5.8%
3割減	2	1.1%	15	8.8%	1	1.5%	3	4.3%	1	1.9%	1	1.9%
4割減	3	1.7%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5割減	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6割減	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

22. 入院収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	6月実績		5月実績		6月実績		5月実績		6月実績		5月実績	
増加	31	17.8%	16	9.4%	7	10.6%	7	10.1%	14	25.9%	7	13.5%
横ばい	50	28.7%	31	18.2%	33	50.0%	30	43.5%	23	42.6%	27	51.9%
1割減	70	40.2%	60	35.3%	20	30.3%	20	29.0%	15	27.8%	14	26.9%
2割減	18	10.3%	44	25.9%	4	6.1%	10	14.5%	1	1.9%	3	5.8%
3割減	2	1.1%	14	8.2%	1	1.5%	1	1.4%	1	1.9%	0	0.0%
4割減	2	1.1%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
5割減	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6割減	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他*	1	0.6%	1	0.6%	1	1.5%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

23. 外来収益の変化（5月、6月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	6月実績		5月実績		6月実績		5月実績		6月実績		5月実績	
増加	24	13.8%	2	1.2%	5	7.6%	1	1.40%	4	7.4%	0	0.0%
横ばい	53	30.5%	17	10.0%	27	40.9%	11	15.90%	20	37.0%	10	19.2%
1割減	66	37.9%	55	32.4%	20	30.3%	19	27.50%	23	42.6%	19	36.5%
2割減	25	14.4%	62	36.5%	8	12.1%	18	26.10%	5	9.3%	16	30.8%
3割減	4	2.3%	25	14.7%	3	4.6%	6	8.70%	1	1.9%	6	11.5%
4割減	2	1.1%	5	2.9%	0	0.0%	6	8.70%	1	1.9%	1	1.9%
5割減	0	0.0%	4	2.4%	1	1.5%	3	4.30%	0	0.0%	0	0.0%
6割減	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.40%	0	0.0%	0	0.0%
8割減	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.40%	0	0.0%	0	0.0%
その他*	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	3	4.30%	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

24. 医業収益の変化（見込み）（6月、7月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	7月見込		6月見込		7月見込		6月見込		7月見込		6月見込	
増加	18	10.3%	8	4.7%	7	10.6%	3	4.3%	3	5.5%	4	7.7%
横ばい	57	32.8%	37	21.8%	22	33.3%	23	33.3%	32	59.3%	28	53.8%
1割減	78	44.8%	80	47.1%	32	48.5%	31	44.9%	16	29.6%	16	30.8%
2割減	18	10.3%	34	20.0%	4	6.1%	8	11.6%	2	3.7%	3	5.8%
3割減	2	1.1%	5	2.9%	0	0.0%	3	4.4%	1	1.9%	1	1.9%
4割減	1	0.6%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5割減	0	0.0%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他*	0	0.0%	1	0.6%	1	1.5%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

25. 黒字赤字の状況

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	6月実績		5月実績		6月実績		5月実績		6月実績		5月実績	
黒字	43	24.7%	29	17.1%	23	34.9%	29	42.0%	19	35.2%	18	34.6%
収支均衡	28	16.1%	22	12.9%	15	22.7%	17	24.6%	15	27.8%	17	32.7%
赤字	103	59.2%	119	70.0%	28	42.4%	23	33.3%	20	37.0%	17	32.7%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

26. 医業利益率の変化（5月、6月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	6月実績		5月実績		6月実績		5月実績		6月実績		5月実績	
上昇	18	10.3%	9	5.3%	7	10.6%	6	8.7%	9	16.7%	8	15.4%
横ばい	30	17.2%	18	10.6%	14	21.2%	14	20.3%	18	33.3%	18	34.6%
0~3%未満程度	26	14.9%	14	8.2%	15	22.7%	13	18.8%	8	14.8%	9	17.3%
3~5%程度低下	36	20.7%	24	14.1%	12	18.2%	9	13.0%	9	16.7%	11	21.2%
5~10%程度低下	31	17.8%	43	25.3%	8	12.1%	17	24.6%	6	11.1%	4	7.7%
10~20%程度低下	22	12.6%	34	20.0%	5	7.6%	8	11.6%	3	5.6%	0	0.0%
20~30%程度低下	7	4.0%	17	10.0%	3	4.5%	1	1.4%	1	1.8%	1	1.9%
30%以上低下	4	2.3%	11	6.5%	2	3.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	1.9%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%

27. 医業利益率の変化（見込み）（6月、7月診療分の前年同月比）

	一般病院				療養型病院				精神科病院			
	7月見込		6月見込		7月見込		6月見込		7月見込		6月見込	
上昇	14	8.0%	7	4.1%	5	7.6%	4	5.8%	5	9.3%	6	11.5%
横ばい	41	23.6%	22	12.9%	19	28.8%	19	27.5%	23	42.6%	21	40.4%
0~3%未満程度	26	14.9%	24	14.1%	15	22.7%	10	14.5%	11	20.4%	11	21.2%
3~5%程度低下	41	23.6%	31	18.2%	8	12.1%	12	17.4%	6	11.1%	11	21.2%
5~10%程度低下	30	17.2%	41	24.1%	9	13.6%	14	20.3%	7	13.0%	1	1.9%
10~20%程度低下	15	8.6%	28	16.5%	6	9.1%	9	13.0%	2	3.7%	1	1.9%
20~30%程度低下	4	2.3%	9	5.3%	3	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
30%以上低下	3	1.7%	8	4.7%	1	1.5%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	170	100.0%	66	100.0%	69	100.0%	54	100.0%	52	100.0%